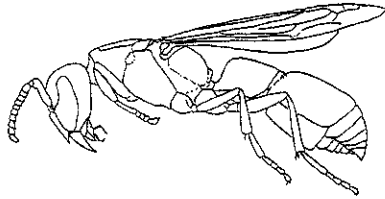
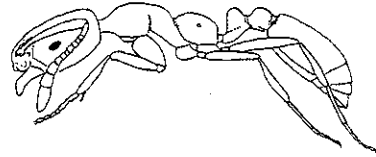


# 日本産スズメバチ上科の科の検索表

有翅。前翅は胸部後縁をはるかに越える。

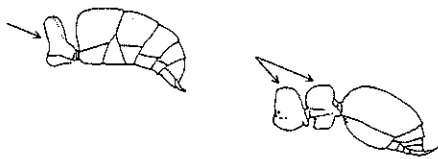


無翅。あるいは短翅。短翅のもの前翅は胸部後縁を大幅に越えることはない。



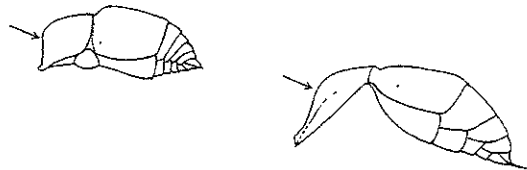
2

腹部第1節は鱗片状または結節状となる（一部柄状の種が存在する。その場合は触角柄節が長い）。あるいは、腹部第1節、第2節が結節状となる。

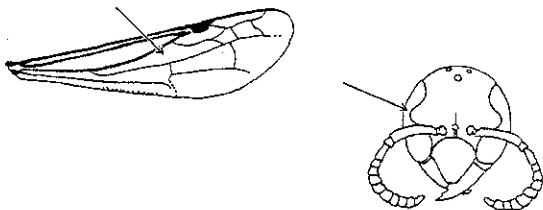


アリ科 (Formicidae)

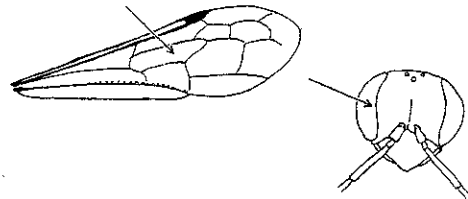
腹部第1節が細くなる種でも背縁が明瞭な山型とはならない。



前翅の第1中室は通常著しく長く、亜中室よりも長い。複眼の内縁は強くえぐられる。

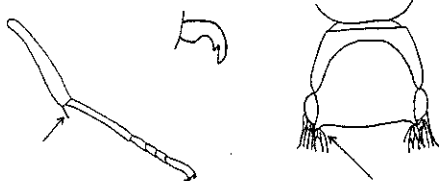


前翅の第1中室は短く、亜中室よりもはるかに短い。複眼の内縁は通常えぐられない（一部の種で弱くえぐられる）。



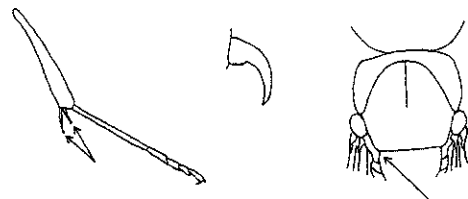
1

中脚脛節刺は1本。爪は2裂する。胸部肩板の内側に亜肩板をもつ。



ドロバチ科 (Eumenidae)

中脚脛節刺は2本。爪は単純で2裂しない。亜肩板を欠く。

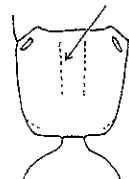
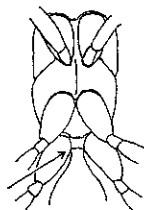
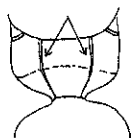
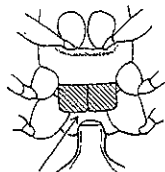


スズメバチ科 (Vespidae)

①

後脚基節間の間隔は幅広く、平らな後胸腹板によって幅広く隔てられる。前伸腹節は背面の前縁から斜面にかけて縦走する2本の条によって3部分に分けられる。

後脚基節間の間隔は狭い。前伸腹節は背面の前縁から斜面にかけて縦走する2本の条はない。



ツチバチ科 (Scoliidae)

中胸側板は、斜めに走る縫合線により二分される。

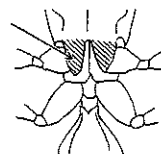
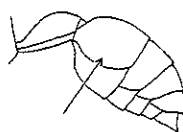
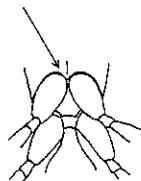
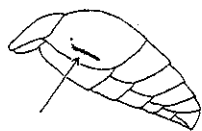
中胸側板に斜めに走る縫合線はない。



ベッコウバチ科 (Pompilidae)

腹部第2背板の側面にフェルト状の毛線がある。中胸腹板は中脚基節におおいかぶさる1対の後方へ突出する葉片はない。

腹部第2背板にフェルト状の毛線はない。中胸腹板には中脚基節におおいかぶさる1対の葉片をもつ。



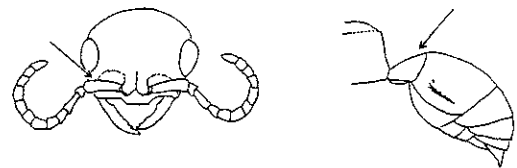
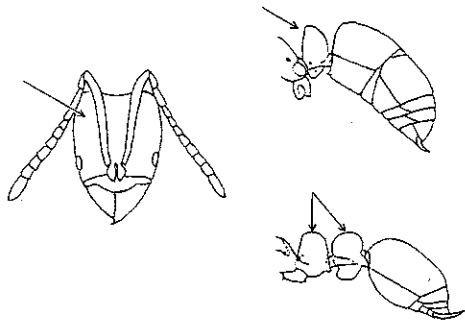
アリバチ科 (Mutillidae)

コツチバチ科 (Tiphidae)

無翅、短翅の種

腹部第1節は鱗片状または結節状となる（一部柄状の種が存在する。その場合は触角柄節が長い）。あるいは、腹部第1節、第2節が結節状となる。触角柄節はふつう長く伸長する。

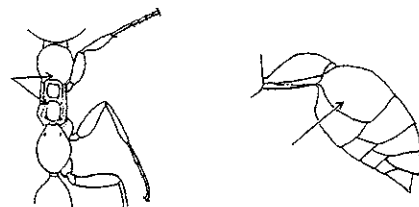
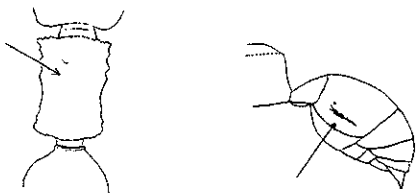
腹部第1節が細くなる種でも背縁が明瞭な山型とはならない。触角柄節は比較的短い。



アリ科 (Formicidae)

胸部背面の縫合線は全て不明瞭か、前中胸縫合線のみ明瞭。腹部第2背板の側面にフェルト状の毛線がある。体は通常密な長毛でおおわれる。

胸部背面の縫合線は明瞭。腹部第2背板にフェルト状の毛線はない。体毛は中程度から少ない。



アリバチ科 (Mutillidae)

コツチバチ科 (Tiphidae)